

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 超柔軟・高透明デバイスの集積実装と微小信号処理の研究
2. 研究代表者： 荒木 徹平（大阪大学 産業科学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、人肌のような柔軟性や、水のような透明性を発現する電子デバイスの研究開発を行うことにより、人肌に溶け込む次世代パーソナルセンサの基盤技術を構築し、疾患の早期発見などオンサイト状況判断の効率化に資する技術開発を目指している。フェーズ1では、有機電界効果トランジスタアレイや電気化学トランジスタアレイの開発が進み、多くの成果を創出したことは評価できる。また、他の創発研究者との連携も多い。フェーズ2では、フェーズ1で開発した柔軟なセルを集積実装した回路を検討するなど、これまでの成果を更に加速するような野心的、発展的な計画となっており、新たな分野の創成につながる今後の成果に期待する。

以上